

教育の里だより

「地域の子どもは、地域で育てる」教育をめざして

～コミュニティ・スクールの推進～

これからの学校は、変化の激しい社会の動向に目を向け、学校・家庭・地域が一体となって子ども達の教育にかかわっていくことが大切であると言われています。

そこで、国東市教育委員会は、4年前に学校・家庭・地域の皆さんがともに知恵を出し合い、協働しながら、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子どもを支えていくような学校づくりを推進していくための「コミュニティ・スクール」の仕組みを導入しました。これまでに安岐地区3校（安岐小・安岐中央小・安岐中）、武蔵地区3校（武蔵東小・武蔵西小・武蔵中）に本格導入しました。今年度は、国東・国見地区の9校を準備の年とし、来年度の本格実施に向け取組を進めています。

コミュニティ・スクールに指定された学校からは、「学校と家庭・地域が主体的に学校教育にかかわる仕組みとなり、それぞれの距離が縮まった」とか、「これまで以上に家庭・地域と情報を共有するようになった」

「地域と連携した共通の取組が進んできた」等の成果が上がっています。

各学校では、月1回の学校公開日が開催されています。地域の方々にも回覧板等を通してご案内が届いていると思います。ぜひ、学校の様子、子ども達の様子を参観していただき、これまで以上のご支援をよろしくお願いいたします。



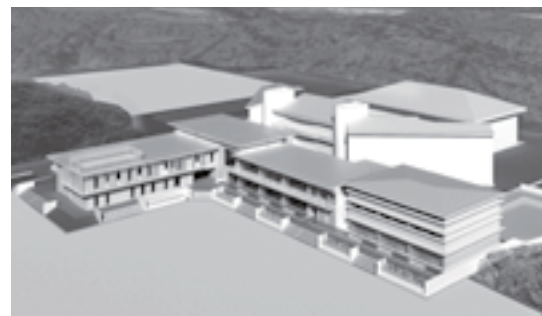
新しい学校への挑戦！ ～義務教育学校とは～

平成32年度に武蔵に国東市の義務教育学校が創設されます。義務教育学校とは、どのような学校だろうと思われる方がいるのではないかと思います。

平成28年度に学校教育法の一部が改正され、小学校6年間、中学校3年間、いわゆる義務教育期間9年間を一つの学校で教育を行う「義務教育学校」を設立してよいことになりました。よって、これまでの中学校1年生、2年生、3年生が、7年生、8年生、9年生となります。

他にも、入学式は小学校1年生で行い、卒業式は9年生で行うといったようにこれまでとの違いもあります。教育環境や児童生徒の成長にとって、これまで以上に小学校・中学校が連携して子育てをしていくことが求められるようになり、このような学校の創設が求められるようになりました。

国東市としては、平成32年度創設に向けて、施設面をはじめ教育内容やPTA組織等、8つの検討部会を立ち上げよりよい学校づくりに向け取組を進めています。今後とも国東市の教育の推進に、ご理解、ご協力をお願いいたします。



【問合先】学校教育課 ☎0978-73-0066

保健のページ



ご存知ですか？

国東市民の生活習慣

国東市の医療機関にかかっている人の2人に1人が生活習慣病です。さらに、約3人に1人が肥満というデータ（国保データベースシステム県内有所見者割合）もあります。また、健康づくりアンケートの結果より、以下のような習慣がわかりました。



運動

*定期的な運動をしている人が少ない

歯

*50歳代で歯が28本以上ある人は約4人に1人

食

*野菜の摂取量が少ない
*間食が多い

H29 健康づくりアンケートより

生活習慣改善のきっかけづくりとして

さくくんで元気!!
健康チャレンジ

取り組み期間：9月～11月
提出ハガキ締め切り：12月14日(金)

チャレンジ申込窓口 8月より申込受付開始します！

- ・国見総合支所 地域市民健康課 ☎0978-82-1112
- ・国東保健センター ☎0978-73-2450
- ・武蔵保健福祉センター ☎0978-68-1184
- ・安岐総合支所 地域市民健康課 ☎0978-67-1114
- ・各地区の保健推進委員

今年は
親子で夫婦で近所の友人で
職場の仲間

一緒に健康チャレンジに取り組もう☆
みんなで取り組むと楽しんで健康づくりを続けられるよ♡
上位になれなくても抽選で豪華賞品が当たるチャンスがあります！

熱中症の一時休憩所を設置しています

国東市では、昨年度5月～9月に13名の方が救急車で搬送されています。家の中でも室温や湿度が高いために、体から熱が逃げにくく熱中症になる場合があります。

下記の場所に熱中症の一時休憩所を設置していますので、ぜひご利用ください。

（熱中症の一時休憩所）

国東市役所本庁舎・国見総合支所・安岐総合支所
国東保健センター・武蔵保健福祉センター
アストくにさき・サイクリングターミナル

（熱中症予防のポイント）

熱中症は、適切な予防をすれば防ぐことができます。大事なのは「水分補給」と「暑さを避けること」です。

①水分補給・塩分補給



こまめな水分・塩分の補給

※高齢者の方は、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分補給を。

②熱中症になりにくい室内環境

- ・扇風機やエアコンを使った温度調整や室温の確認
- ・室温が上がりにくい環境の確保（こまめな換気、遮光カーテン、すだれ、打ち水など）

③体調にあわせた取り組み

- ・こまめな体温測定
- ・通気性の良い、吸湿・速乾の衣服着用
- ・保冷剤、氷、冷たいタオルなどによる体の冷却

④外出時の準備

- ・日傘や帽子の着用
- ・日陰の利用、こまめな休憩
- ・通気性の良い、吸湿・速乾の衣服着用



【問合先】医療保健課 ☎0978-73-2450